

AOMORI 多文化共生推進事業

各関係機関と連携し、外国人児童生徒等に対する支援体制を充実させることにより、散在地域である本県において、外国人児童生徒等が自立できる力を育成するとともに、多文化共生社会の実現に向けた外国人児童生徒等の教育の充実を図る。

現状

- ・日本語指導が必要な児童生徒数は増加しており、県内に散在している。

H30 53名 R3 61名 R5 78名

- ・「特別の教育課程」を編成し、日本語指導を行う学校に教員を配置

R04 小6校 中2校

- ・県内大学等と連携し、「日本語指導が必要な児童生徒担当教員等連絡協議会」を開催

課題

- ・日本語教員が配置されておらず、専門的な指導が行われていない。

- ・県国際交流協会と青森大学が育成した日本語指導サポーターの活用を図る必要がある。

- ・ひろだい多文化リソースルームと連携し、持続可能な学校支援体制を整備する必要がある。

多文化共生社会の実現に向けた長期的計画

【事業内容】

◇文部科学省補助事業「帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業」を活用

【散在地域における指導・支援体制の整備】

- ひろだい多文化リソースルームと連携し、学校への支援員等の派遣
 - 母語支援員
 - 日本語支援員
 - 多文化スーパーバイザー
- 日本語指導が必要な児童生徒担当教員等連絡協議会の開催
- 外国につながる児童生徒と保護者のための高校進学ガイダンスの実施
- ポケットークforスクールの活用

【教員等の指導力向上】

- 「日本語指導者養成研修」へ教員等を派遣

【事業成果】

日本語指導が必要な児童生徒が専門的な指導やアドバイスを受けることにより、日本語能力が向上するとともに、安心して充実した学校生活を送ることができる。

県内の学校で、多文化共生における現状や課題に対する理解が促進される。

県内において日本語指導に当たる教員等のネットワークが広がる。

外国につながるのある方々から「選ばれたAOMORI」の実現へとつながる。

外国につながる児童生徒のキャリア支援の充実が図られる。